



2021年8月2日

各位

会社名 アサヒグループホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 勝木 敦志
 (コード番号 2502 東証第1部)
 問合せ先 執行役員 コーポレート・コミュニケーション部門長
 石坂 修
 (TEL. 03-5608-5126)

2021年12月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年2月12日の決算発表時に公表した2021年12月期第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～6月30日)の連結業績予想(IFRS)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年12月期 第2四半期連結累計期間の連結業績予想の修正(2021年1月1日～2021年6月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上収益	事業利益 (※1)	営業利益	四半期利益	親会社の所有者に 帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
前回発表予想(A)	1,067,500	76,500	93,500	59,400	59,500	117円42銭
今回修正予想(B)	1,033,500	89,300	109,400	79,400	79,300	156円53銭
増減額(B-A)	△34,000	12,800	15,900	20,000	19,800	—
増減率(%)	△3.2	16.7	17.0	33.7	33.3	—
(ご参考)(※2) 前期実績(2020年12月期第2四半期)	874,289	50,574	43,281	28,665	28,767	62円80銭

※1 事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

※2 2021年12月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理が確定したことに伴い遡及修正を行っており、2020年12月期第2四半期の連結経営成績(累計)について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などにより、事業利益について、酒類事業が予想を下回りましたが、オセアニアを中心とした国際事業や飲料事業が上回ったことに加え、円安による押し上げ効果などにより、前回予想を上回る見込みとなりました。また、イタリアにおいて世界的なパンデミックへの対応として採択された税制に基づき法人所得税費用が減少したことなどにより、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益が前回予想を大きく上回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては8月10日の第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上